

本県の自殺対策の主な取組について

施策体系		事業名等	ページ
ライフステージ別対策	就学期の取組	大学生向け自殺予防啓発事業	1
	成人期の取組	ひきこもり対策事業（相談事業）	2
自殺ハイリスク者群への対策	精神疾患患者	依存症対策総合支援事業	3
	自殺未遂者	自殺未遂者対策関連事業	4
その他保護因子を高める対策	相談体制	相談体制の整備・相談窓口の周知	5
	普及啓発	自殺予防街頭啓発キャンペーン等事業	6
自死遺族支援対策	自死遺族	自死遺族支援対策関連事業	7

大学生向け自殺予防啓発事業

大学入学後の学生に対し、人間関係や環境の変化等によるメンタルヘルス対策や不適切な飲酒がうつ病や自殺の危険因子となること等を啓発し、若年層の自殺対策の推進を図ります。

(実施主体：精神保健福祉センター)

1 大学生向け出前講座

- (1) 実施大学数 8大学10講座
- (2) 受講者数 907名
- (3) 講師
県精神保健福祉センター・保健所職員、
中核市保健所職員、臨床心理士
- (4) 内容
 - 講義
 - ・ストレス対応とアルコールについて
 - ・こころの健康について 等
 - アルコールパッチテスト



2 教職員向け研修会

- (1) 開催日 ①平成30年8月23日(木)
②平成30年11月1日(木)
- (2) 参加者 愛知県内の大学教職員、保健所職員
① 29名 ② 30名
- (3) 内容及び講師
 - 講演・グループワーク
 - ①大学における自殺対策(大学コミュニティの改善に活かす)
講師：筑波大学准教授 太刀川 弘和 氏
 - ②相談対応と支援について
講師：名古屋市立大学教授 条 和彦 氏

ひきこもり対策事業（相談事業）

ひきこもり等困難を抱える方を支援することは、本人及び家族の精神的負担を軽減することに繋がり、**自殺の保護因子**になると考えられます。

<主な事業>

（１）ひきこもりに関する専門相談窓口の設置

各県保健所及び県精神保健福祉センターにおいて、ひきこもりに関する相談を面接・電話等により受け付けています。

【平成30年度延相談件数】

- 保健所：面接**508**件、電話**401**件
- センター：面接**416**件、電話**280**件

（３）Eメール相談の実施

電話や対面で人と話すことが苦手な方でも利用しやすいよう、Eメール相談を実施しています。

【アドレス】<https://www.aichi-pref-email.jp/top.html>

【平成30年度延相談件数】 60件

（２）ひきこもり相談専用電話

精神保健福祉センターにひきこもりに特化した相談専用電話を設置し、相談員が対応しています。

【対象】名古屋市を除く愛知県内にお住まいの方

【電話】**052-962-3088**

【受付時間】月～金（年末年始・祝日を除く）

午前9時～12時、午後1時～4時30分

【平成30年度延相談件数】 164件



依存症対策総合支援事業

自殺リスクを高めるアルコール依存症等の依存症について、正しい知識の普及を図るとともに、予防、相談、治療、回復支援にいたる支援体制の整備を図ります。

<主な事業>



1 依存症専門医療機関・治療拠点機関の選定

医療機関種別	依存症の種別	医療機関名	選定自治体
専門医療機関	アルコール健康障害	桶狭間病院藤田こころケアセンター・刈谷病院	愛知県
		八事病院・西山クリニック・絃仁病院	名古屋市
	薬物依存症	桶狭間病院藤田こころケアセンター	愛知県
		西山クリニック・絃仁病院	名古屋市
	ギャンブル等依存症	堀クリニック	愛知県
		西山クリニック	名古屋市
治療拠点機関	アルコール健康障害	医療法人成精会刈谷病院	愛知県
		八事病院・西山クリニック	名古屋市
	ギャンブル等・薬物	西山クリニック	名古屋市

2 回復支援プログラム

① あいまーぷ

② ART-G（アートジー：あいちギャンブル障害回復トレーニングプログラム） H30.11～開始

(1) 実施機関：県精神保健福祉センター

(2) 対象者：依存症等からの回復を希望する当事者

①アルコール依存症、薬物依存症

②ギャンブル等依存症

(3) 場所：県精神保健福祉センター

(4) 実施日：①毎週水曜日（年末年始、祝日を除く）

②毎月第2火曜日

(5) 内容：ワークブックを用いたグループワーク

(6) 参加者数：① 158名

（平成30年度実績
延べ人数）

② 16名

自殺未遂者対策関連事業

自殺未遂者を支援するために、地域連携体制の充実・強化を図ります。

1 自殺未遂者支援地域連携事業

(自殺防止地域力強化事業)

自殺未遂者を支援するための地域連携を推進することを目的に、連携会議やケア会議、事例検討会を開催する。

【実施機関】 県保健所（12か所）

【事業内容】 ・ 連携会議
・ ケア会議又は事例検討会

【主な議題】

管轄地域の自殺（未遂者）の状況、各機関の取組、相談支援状況、連携のための意見交換等

【主な参加者】

医療機関（救急、精神科）警察、消防署、地域包括支援センター、相談支援事業所、市町村職員等

2 自殺未遂者支援等推進事業研修

地域で自殺未遂者支援を行う機会のある職員が自殺未遂者への理解や対応方法を学ぶなど資質向上を目的に研修を開催する。

【実施機関】 精神保健福祉センター

【開催日】 令和元年8月9日（金）

【内 容】

○講演「自殺未遂者医療の最前線 ケア技術と施策に関する最新情報」

講師 札幌医科大学主任教授 河西千秋氏

○講演「救急・総合病院における自殺未遂者支援の視点」

講師 JA愛知厚生連江南厚生病院
地域医療福祉連携室長 野田智子氏

○演習「所属における取組についての情報交換」

【対象者】 第2次・第3次救急病院職員、消防関係者、保健所・市町村・相談支援事業所等職員

【参加者数】 95名

相談体制の整備・相談窓口の周知

こころの悩みについて、保健所や精神保健福祉センターで相談を受けるとともに、県や市町村のほか、関係機関や民間団体の各種相談窓口を広く県民に周知します。

1 県における相談体制

- あいちこころほっとライン365（電話相談）
年中無休 9時～16時30分
- 精神保健福祉相談
精神保健福祉センター・保健所における面接相談
及び電話相談
- Eメール相談
メンタルヘルス相談、ひきこもり相談

2 相談窓口の周知

- 福祉ガイドブックや相談窓口を案内するパンフレットを配布することにより、県民に相談窓口の周知を図る

【2018年度相談実績】

相談機関等	面接相談	電話相談	Eメール	計
保健所	2,777	12,222	—	14,999
精神保健福祉センター	987	1,681	222	2,890
あいちこころほっとライン365	—	6,083	—	6,083
計	3,764	19,986	222	23,972



その他の保護因子を高める対策

自殺予防街頭啓発キャンペーン等事業

1 自殺予防週間事業の実施

9月10日から16日までの自殺予防週間に合わせ、県民一人一人が主役となり、県全体で自殺予防に取り組む機運が高まるよう、「ひとりじゃないよ。ひとりにしないよ。」をキャッチフレーズに県民の皆様呼びかけ等を行います。

(1) 街頭啓発キャンペーン

【日時】 令和元年9月10日（火）
午前8時30分～

【場所】 式典：名古屋駅前タワーズガーデン
啓発活動：名古屋駅

（JR桜通口、名鉄、近鉄、あおなみ線
改札口付近）

【出席】（予定）副知事、協力団体様 約100名程度

平成30年度の活動状況（副知事出席）



(2) 電話相談の受付時間延長

不安やうつ、人間関係の悩みに関する「あいちこころほっとライン365」の受付時間を延長します。

☎ 052-951-2881

【受付時間】 毎日（年中無休）
9時～16時30分

※ 自殺予防週間中は**20時30分まで延長**



自死遺族支援対策

自死遺族支援対策関連事業

自死遺族の方に対しての支援の推進を図るとともに、県民に自死遺族の方々への配慮について理解の促進を図ります。

<主な事業>

1 自死遺族相談

身近な大切な人を自死でなくされた方の苦しみを和らげるために、個別面接による相談を行っています。

【実施機関】 県精神保健福祉センター又は保健所

【開催日】 センター 毎月第3木曜日 14時～15時30分
保健所 事前の電話にて相談

【対象者】 愛知県内在住の方（名古屋市を除く）

【相談対応者】 保健師、精神保健福祉相談員

3 相談窓口担当者の資質向上研修

自死遺族相談に対応する職員の資質向上を図るため研修会を開催します。

【実施機関】 県精神保健福祉センター 【対象者】 保健所、市町村、相談支援事業所、福祉相談センター等の職員

【回数】 年1回

(参考) 平成30年度開催状況

○開催日 平成30年12月21日

○内容 講演「死別を経験した家族を支える ～悲嘆のケアの考え方と具体的な支援～」

講師 福島県立医科大学 准教授 瀬藤 乃理子 氏

2 自死遺族の自助グループへの支援

自死遺族への支援や一般県民への普及啓発を行うため、自助グループなどの民間団体の活動に助成を行います。

【補助内容】

○リメンバー名古屋自死遺族の会

…出張遺族会の開催（令和元年11月予定）

○～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室

…セミナー・座談会の開催（令和2年1月頃予定）